

たからもの

地域人権教育指導員 宮崎 篤

「がんばって生きて」

「一年一組 先生あのね」という本があります。一年生になった子どもたちが、日々の出来事を詩にし、担任の先生がそれを一冊の本にしました。

6歳の子どものたくさん  
の思いや願いがそこには載っています。次はその中の一つです。

「私は景色ではないわ」

おかあさんのたからもの  
ながたまさひと

昨年秋、新聞に次のような短歌が載りました。

おかあさんに「おかあさんのたからものはなに」ときくと  
「まあくんととっちゃん」といいます

ガザ報道 慣れてはならじ  
いままさに 殺されている子は  
昨日とは別の子  
空爆の ガザで子どもが  
画面に叫ぶ

「つん」といいます

「私は景色ではないわ」

(10月19日朝日新聞歌壇)

ぼくはとつてもうれいんです

(鹿島和夫・灰谷健次郎著理論社)

かけがえのないはずの子どもたちが、今この瞬間も、命の危機におびえ、震え、泣いています。



「戦争は最大の差別である」という言葉の自身はとも単純です。開戦を命じた人自身は決して戦場に行くことはありません。行くのは命じられた若者たちです。殺され傷つくのも現地の若者たち。そして、まきぞえとなる社会的弱者の女性、高齢者、子どもたち。「命に軽重はない」とは決して言えない状況です。これ以上の差別はありません。いつも思います、命じた者の責任は…。

①農業委員と農地利用最適化推進委員の改選のお知らせ  
市の農業委員会(以下:委員会)を構成する農業委員(定数19人)と農地利用最適化推進委員(定数30人)は、令和9年3月21日(日)に任期満了を迎えます。現在の選任方法は、農業委員は公募による市長の任命制、農地利用最適化推進委員は、公募により委員会が委嘱することになっていきます。委員会では、8月から関係団体などに対して、候補者の推薦を求めるとともに、農業委員と農地利用最適化推進委員の公募を行います。詳細は、広報きくちやホームページなどでお知らせします。

②農業者年金現況届の提出をお願いします  
農業者年金を受給している人は、毎年6月1日現在において、引き続き年金を受給する資格があるか否かを確認するため、6月中に農業者年金受給権者現況届の提出が必要になります。独立行政法人農業者年金基金

農地は無断転用は法律違反です  
委員会の許可を受けずに、無断で農地転用を行うと農地法違反となります。無断転用では権利の取得にはなりません。発見した場合は、委員会が工事の中止を指示し、元の農地に復元させる命令を出すことがあります。違反転用者には、3年以下の懲役や300万円以下(法人は1億円以下)の罰金が科せられる農地法の罰則が適用されます。また、転用許可を受けた後も、工事完了までの間、許可日から3カ月後および1年ごとに工事の進行状況を報告し、完了後は遅滞なく完了したことを報告しなければなりません。

◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ②4

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223

◆福岡県 大刀洗町

歴史と自然に恵まれた町

福岡県三井郡大刀洗町は、総面積の6割が農地で、一面に田園風景が広がるのどかな町です。南北朝時代の武将・菊池氏15代武光にゆかりのある大刀洗町正平14(1359)年、筑後川の戦い(大原原の戦い・大原合戦)の後、山隈原に兵をまとめた武光が、流れる小川を渡り、太刀を洗ったとされる故事から、その川を大刀洗川と称するようになり、さらに町名にもなりました。町の人々の武光への関心は高く、昭和12(1937)年には、大刀洗川の近くの公園に、武光の銅像が建てられました。この



菊池武光銅像

歴史と自然に恵まれた大刀洗町で、この季節ならではのイベント「大刀洗えだまめ収穫祭」を開催します。大刀洗町の枝豆と地元グルメはもちろん、糖度の高いスイートコーンも販売



毎年大盛況の大刀洗えだまめ収穫祭

銅像は全国的にも珍しい下馬した姿で、今まさに太刀を洗わんとするかのようです。また、平安時代より栄えた三原家代々の居城・三原城跡も残ります。三原氏は鎌倉時代には護良親王の命で九州探題を攻め、延元(1336)年の多々良浜の戦いでは、足利尊氏勢を迎え撃つなど、宮方として尽力しています。この戦いに敗れた武敏(武光の兄)は、三原朝種に護られて三原城に逃げ込みました。三原城があった本郷地区には、筑前宮崎宮に願い出て、高良新宮の神霊を分祀し城内に奉り、三原城の守護神とした本郷高良玉垂神社(延元3(1338)年に現在地に奉祀)など、南北朝ゆかりの史跡も点在しています。



家形土器 青銅器

銅像は全国的にも珍しい下馬した姿で、今まさに太刀を洗わんとするかのようです。また、平安時代より栄えた三原家代々の居城・三原城跡も残ります。三原氏は鎌倉時代には護良親王の命で九州探題を攻め、延元(1336)年の多々良浜の戦いでは、足利尊氏勢を迎え撃つなど、宮方として尽力しています。この戦いに敗れた武敏(武光の兄)は、三原朝種に護られて三原城に逃げ込みました。三原城があった本郷地区には、筑前宮崎宮に願い出て、高良新宮の神霊を分祀し城内に奉り、三原城の守護神とした本郷高良玉垂神社(延元3(1338)年に現在地に奉祀)など、南北朝ゆかりの史跡も点在しています。

◆弥生時代の大規模集落  
全国的に米作りが始まった弥生時代は、その中期から後期にかけて集落の規模が大きくなり、人口も増えてきたことが遺跡の発掘調査から推定されています。最近の調査事例として、玉名市が平成24年から発掘調査を行った大原遺跡(玉名市岱明町野口)では、竪穴建物128棟、掘立柱建物6棟など、弥生時代から古墳時代にかけての遺構が重なるような状態で多数確認され、ここには当時、大規模な集落があったことが分かりました。大原遺跡は、菊池川下流域右岸の有明海を望む標高15m程の台地上にあります。その周辺は弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が特に集中しており、木船西遺跡、下前原遺跡、塚原遺跡、年の神遺跡、山木佐貫遺跡、南大門遺跡、東南大門遺跡があります。これらの遺跡からは竪穴建物や大型円形竪穴建物が確認され、廃棄土坑からはマガキ、淡水のタニシ類、干潟のウミナナ類な

深掘り! 菊池川流域日本遺産エピソード  
【問い合わせ先】文化課 ☎0968(41)7515  
どの貝類、魚類、鳥類、シカやイノシシなど哺乳類の獣骨が出土し、当時の食料採集場所や食生活の一端を知ることができます。現在この一帯は、市道岱明玉名線が通り新しい住宅が立ち並び住宅地になっています。山鹿市にある国指定史跡「方保田東原遺跡」は、史跡の一部が芝生公園として整備されています。また、国指定になっている出土品は、隣接する山鹿市出土文化財管理センターなどで見ることが出来ます。(関連24頁)